

向東小・中学校 小中連携教育 コミュニティ・スクールだより



令和3年3月10日

No.4

向東地域
学校運営協議会



第4回向東地域学校運営協議会（2月10日）

第4回向東地域学校運営協議会

2月10日（水）に開催され、「本年度のまとめ」「来年度に向けて」等について協議が行われました。小中学校からは、学校評価（最終評価）・小中合同研修会・作業部会等の報告を行いました。花咲公民館長からもCSに係る地域アンケート結果を説明していただきました。委員の皆様から次のご意見や質疑をいただきました。

【各委員の皆様からのご意見や質疑】

<学校評価について>

- ・A評価になっている項目は、新たな方策・手段を検討していく必要がある。数値目標・指標をどうするのか。D評価の項目も見直しをしていかないといけない。
- ・アンケートの実施をしているが、回数や内容を検討する。具体的な取組を通してのアンケートを実施し、評価を見取っていく。

<総合的な学習の時間について>

- ・総合的な学習の時間の授業をレベルアップしていくことが必要である。小中学校で互いのカリキュラムを見直してほしい。コミュニティ・スクールだからこそ、地域と協働していかないといけない。地域と学校が一緒にまちづくりをやっていけたらよいのではないか。

<地域の見守りにについて>

- ・安佐北区で、下校時刻に合わせて地域の方が犬を散歩してパトロールする「わんわんパトロール」が成果を上げているという記事が新聞に掲載されていた。散歩をしながら見守りをするといった取組がいい。
- ・不審者の見守りについて、PTAとして地域の方へ大変感謝している。地域で一体感ができればいいと思う。

<授業・パワーアップウィークについて>

- ・パワーアップウィークはよい取組である。他の先生が授業を参観することはいいことである。

<その他>

- ・小中学校の保護者が「学校に協力したい」と思っている。地域の協力を生かしていけるようにしてほしい。
- ・「コミュニティ・スクールを知っている」と答えた割合が増加しているが、向東町の人口全体から考えるとまだ少ない。
- ・小中連携型コミュニティ・スクール3年目を迎えるが、よい方向に向いている。子供が地域で挨拶をよくするようになった。

小中連携型コミュニティ・スクールの3年目が終わります。1年目は基盤づくり。2年目は中身づくり。3年目は中身の充実でした。コロナ禍で学校行事・小中連携による取組等が制限される中で大変でしたが、コミュニティ・スクールだからこそできたこともたくさんありました。委員の皆様からいただいたご意見等を参考にしながら、来年度も引き続き、小中連携を充実させ、「学力向上」「生徒指導の充実」「信頼される学校づくり」の3つの柱で取組を進めていきたいと思っております。

コミュニティ・スクールを基盤とした 小中連携教育の取組（1年を振り返って）



第2回小中合同研修会（8月4日）

小学校の全国学力状況調査問題を実際に解いたり，中学校の標準学力調査の結果分析をグループで協議したりしました。今，子供達にどんな力が求められ，どんな資質・能力が求められているのかを小中学校の教職員で情報共有をし，日々の授業改善につなげていくことを確認しました。

向東中学校オープンスクール（8月4日）



小学校6年生が参加し，学校紹介・授業体験・部活動見学を行いました。参加した6年生の子供達の感想では，「中学校に向けて，楽しみになった。」「最初は不安だったが，体験することで，中学校に早く行きたいと思った。」等，肯定的な評価が高く，子供達にとって，よい機会になりました。また，今年度は，6年担任だけでなく，小学校教職員全員，参加しました。普段の中学生の様子や，卒業した子供達が中学校でどのように学び，成長をしているのか知る機会となったことも成果の一つとしてあげられます。



中学校体育科麻生教諭
による小学校出前授業

麻生先生を講師として，6年生体育「マット運動」の授業を行いました。後転の仕方のポイントを教えてくださいました。ICTを活用して，自分の後転した姿を見ながら，学習することができました。



小中合同挨拶運動

児童会・生徒会が中心となり進めています。挨拶運動によって，自分から進んで挨拶をするという意識を高めていることにつながっています。また，中学生はリーダーとしての自覚・小学生は，中学生をモデルとしためざすリーダー像の明確化としてもよい効果が出てきています。



小中音楽交流会（小6・中3）

小学校学習発表会の6年生合奏と中学校文化祭の全校合唱の曲が同じ「ふるさと」であったことから，新たな試みとして交流しました。お互いを知り，また，それぞれ最高学年として良い刺激を受けることができました。